

総務厚生常任委員会 3月9日

地域防災計画の見直しへ

白鷹町地域防災計画修正案のポイントについて説明を受けた。

質疑

ペットの避難

委員 ペットの同行避難の計画は。

当局 飼い主にマニュアルをお知らせし、避難所内でのペットの在り方を示したい。

男女共同参画

委員 自主防災組織の男女共同参画の具体策は。

当局 組織の役員に女性も参入できる環境づくりや働きかけを行いたい。

デジタル化

委員 防災のデジタル化の内容は。また、双方向のやり取りは可能か。

当局 個別受信機の導

【主な修正ポイント】

防災基本計画、県地域防災計画の内容反映

① 住民に対する防災意識の普及

② 自主防災組織の育成

③ 企業における防災の促進

④ 避難所の指定

⑤ 防災用通信設備のデジタル化

⑥ 社会福祉施設等における要介護者対策等

● 近年の豪雨災害を踏まえた諸施策の充実

① ため池施設の災害予防対策

② 町の情報連絡体制等の強化

③ 住民の自主的な避難

④ 避難所運営管理 等

● その他の防災に係る諸施策の充実

① 消防団の育成強化

② 感染症対策



入も含めて、通信のデジタル化を図る。双方向のやり取りに関して、※防災アプリを導入すれば可能となる。

委員 アプリで地区別など個別に対応した情報は出せるのか。

当局 具体的検討はこれからだが、地区別の設定も可能である。

※防災アプリ

パソコンやスマートフォンに導入し、防災情報等を得るプログラム。

「なりたい自分、ここからスタート」

荒砥高等学校魅力化計画について説明を受けた。

質疑

具体的な活動は

委員 主な取組の具体的な活動は。

当局 職場体験は、町内企業において半年程度の期間を設定し、半日を企業に行つて学ぶなど勤労観や職業観を養う。また地域と連携し、資源や課題を掘り起こす作業から行いたい。

委員 情報発信は。

当局 魅力化のホームページやSNSで活動をPRできるものを考えている。

委員 全生徒対象か。

当局 全生徒対象だが、段階的に取組んでいく。

委員 コーディネーターは常勤か。

当局 常勤で配置したい。

荒砥高等学校魅力化に係る地域連携協議会を設置し、魅力化計画の策定に向けて令和2年9月より協議会を2回、実務者会議を2回開催し、検討してきた。

【計画の概要】

1 名称

荒砥高等学校魅力化計画

2 計画期間

令和4年度まで

3 主な取組

① 教科「教養基礎」の実施

基礎学力の定着徹底を中心としたカリキュラムの実践

② 長期職場体験実習の実践

望ましい職業観・勤労観を育成するための長期間にわたる就業体験活動

③ 地域課題解決型学習

地域の人と関わり、地域を知る活動や課題について考え提案する学習

④ 推進方策

高校魅力化コーデイネーターの配置
高校、地域、行政(町)をつなぎ、上記の取組等の高校魅力化を推進する役割を担う。

5 目標

令和5年度入学者30名

